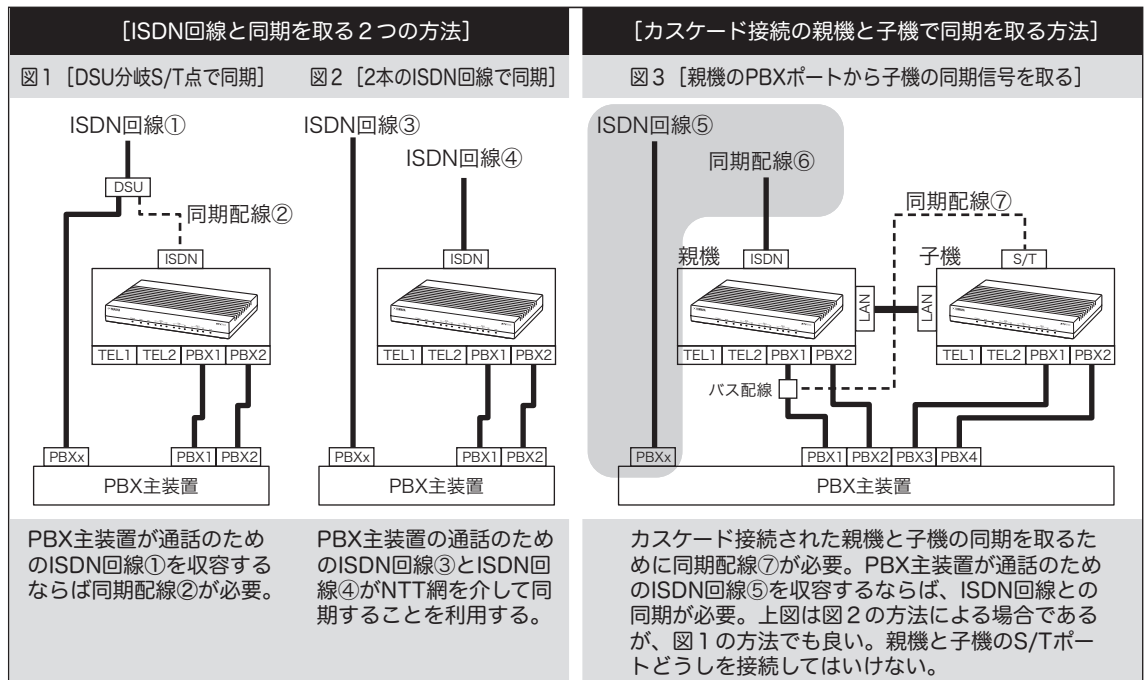


お取り扱い上のご注意

RTV700 Rev.8.00.39 以降

設置時のご注意

- ① ISDN ポートに接続する ISDN 回線はインタフェース形態がポイント・マルチポイント接続 (P-MP 呼毎または P-MP 常時) 契約でのみ動作し、ポイント・ポイント (P-P) 契約では動作しません。
- ② PBX 主装置が ISDN 回線を収容するときは、**RTV700** を ISDN 回線と同期させてください (図 1 または図 2)。さらに、カスケード接続の親機と子機を PBX ポートにより一台の PBX 主装置に接続するときは、親機・子機間でも ISDN 回線と同期させてください (図 3)。



※親機と子機が別々のPBX主装置に同期して接続されているときは、親機・子機間の同期は不要です。また、**RTV700** 以外のモデルはPBXポートを持たないためそのモデルとの同期は不要です。

※ ISDN 回線に接続されない親機・子機はすべて `isdn use bri1 off` コマンドを実行して回線未使用の設定に変更してください。

- ③ **RTV700** は必ず接地 (アース) してください。PBX 主装置との接続では適切な接地を取ることが特に重要です。不適切な接地では、発着信が正常に動作しない、TEL ポートのダイヤルイン信号が正常に出力されない、通話に雑音が出るなどの症状が出ます。
- ④ 内蔵 DSU を使用すると ISDN の「S/T ポート」は動作しないため、デジタル電話機や G4FAX などの ISDN 機器は接続できません。

機能上のご注意

①【カスケード接続機能ご利用について】

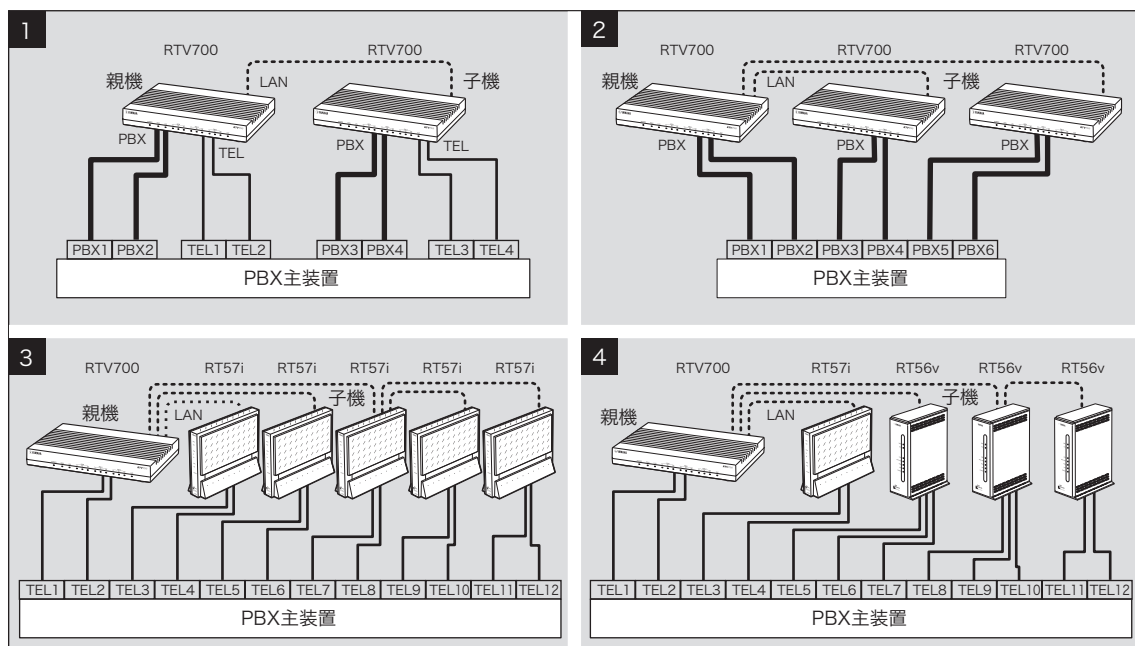
カスケード接続機能については『活用マニュアル』40ページをご参照ください。

① **RTV700** と組み合わせて使用できるモデルと対応ファームウェアを下表に示します。

モデル名称	親機利用	子機利用	対応リビジョン
RTV700	○	○	Rev.8.00.39 以降
RT57i	×	○	Rev.8.00.27 以降
RT56v	×	○	Rev.4.07.45 以降

② **RTV700** が親機の場合は、同時通話数はカスケード接続全体で12通話まで（G.711の場合）となります。12通話をすべてPBX主装置へ接続する組み合わせ例を下表・下図に示します。

モデルの組み合わせ例		PBX主装置の接続ポート数	
親機	子機	ISDN	アナログ
1 RTV700	RTV700	4	4
2 RTV700	RTV700 - RTV700	6	0
3 RTV700	RT57i - RT57i - RT57i - RT57i - RT57i	0	12
4 RTV700	RT57i - RT56v - RT56v - RT56v	0	12



※上図のLANポートの接続は参考です。相互通信できる接続形態であればカスケード接続できます。

③ ISDN回線を接続しないときと同期をとるためだけの配線をしたときは、必ずその機器で **isdn use bri1 off** コマンドを実行して回線未使用の設定に変更してください。

④ 子機となる **RT56v** の PSTN 回線経由の通話は、すべての親機・子機から利用できません。そのため、**RT56v** の LINE ポートには回線を接続せず、**RT56v** のかんたん設定において [電話設定]-[基本設定] の「本機を電話回線に接続する」のチェックを外してください（**psdn disable** コマンドの実行と同等）。

⑤ 親機と子機の LAN ポートはすべて異なる IP アドレスを固定で設定してください。DHCP 機能により親機・子機に IP アドレスを与えると、IP アドレスの更新時に以前とは異なる IP アドレスが与えられて、音声接続が強制的に切断されることがあります。

② 【PPTP 接続のセッション数について】

PPTP によるトンネル接続の最大セッション数は 30 であり、全セッションでのスループットの合計値は約 2Mbit/s となります。なお、推奨セッション数は 4 です。

③ 【VPN 接続と音声データについて】

RTV700 では VPN 接続として "IPsec によるトンネル接続" と "PPTP によるトンネル接続" の両方が利用可能ですが、データをトンネル内に流す場合には "IPsec" の方が高速に処理されるため適しています。なお、音声データをトンネル内に流す必要の無い場合には、トンネル外を通した方が機器全体のパフォーマンスが向上します。IPsec と PPTP については『活用マニュアル』56 と 42 ページをご参照ください。

④ 【ISDN の付加サービスについて】

① **RTV700** に接続される ISDN 回線の以下に示す各サービスは PBX ポートに接続される PBX 主装置でご利用頂けますが、それ以外のサービスはご利用頂けません。 i・ナンバーについては『活用マニュアル』80 と 84 ページをご参照ください。

- 『INS ナンバー・ディスプレイ』とそのオプションの 『INS ネーム・ディスプレイ』
- 『ダイヤルイン』
- 『サブアドレス通知』
- 『i・ナンバー』

② カスケード接続の親機・子機 (**RTV700, RT57i, RT56v**) では、フレックスホン (INS キャッチホン・三者通話・通信中転送・着信転送の 4 つ) とそれらの擬似機能は (外線・内線共に) 利用できません。カスケード接続でない単体動作では、TEL ポートでのフレックスホンをご利用頂けます。フレックスホンについては『活用マニュアル』64～73 ページをご参照ください。

機能	カスケード接続あり		カスケード接続なし	
	TEL ポート	PBX ポート	TEL ポート	PBX ポート
フレックスホン	×	×	○	×
擬似フレックスホン	×	×	○	×

⑤ 【G.729a による音声通話について】

G.729a による通話は PBX ポートと TEL ポートでそれぞれ最大 2 通話 (合計最大 4 通話) です。ただし、ISDN 回線の通話状況 (※) により、G.729a による通話が装置全体で同時 2 通話までとなることがあります。G.729a については『コマンドリファレンス』178 ページ「20.6 使用できるコーデック種別の設定」をご参照ください。

※例えば、PBX ポートから ISDN 回線で 2 通話使用している状態では、残りの PBX ポートと TEL ポートで通話できる G.729a の通話数が 2 通話となります。

⑥ 【高負荷時について】

データ通信の負荷が高いと通話品質に影響が出ることがあります。

その他のご注意

- ① パスワード設定無しでかんたん設定ページからの設定が可能です。従って、セキュリティを重要視するときは必ずパスワードやアクセス制限を設定してください。これらの設定については『活用マニュアル』94 ページをご参照ください。
- ② LAN ポートは工場出荷状態で IP アドレスが 192.168.100.1/24 の DHCP サーバとして動作します。既存のネットワークに接続するときは、本機の IP アドレスと DHCP の設定を適切に変更してください。これらの設定については『活用マニュアル』96 ページをご参照ください。
- ③ ISDN 回線を接続するときは、①内蔵 DSU の使用、② U ポートの極性、③終端抵抗の 3 つを適切に設定してください。①と②の設定については『活用マニュアル』97 ページを、③については『コマンドリファレンス』45 ページ「終端抵抗の設定」をご参照ください。

なお、U ポートと S/T ポートに同時に ISDN 回線を 2 本収容して使用することはできません。

- ④ 管理パスワードを設定しないと、ISDN 回線または専用線を介したリモートセットアップは実行できません。
- ⑤ かんたん設定ページからのリビジョンアップ時は、画面に表示されるライセンス契約に同意して頂く必要があります。
- ⑥ 再起動後に有効となる **sip use** コマンドを含む設定ファイルを TFTP で本機に転送したときは、転送完了後に別途 **restart** コマンドを実行するか電源を入れ直してください。
- ⑦ IPX、ブリッジ、BACP、BAP、フレームリレー、OSPF、BGP、VRRP、RADIUS、バックアップ、帯域制御、IPsec 使用時のトンネルインタフェースに対する優先制御及び帯域制御の機能は搭載されていません。
- ⑧ **analog extension dial prefix** と **isdn dial prefix** コマンドのプレフィックスとして、以下のパターンは設定できません。

① "1" ② "11" ③ "110" ④ "118" ⑤ "119" ⑥ "110x" ⑦ "118x" ⑧ "119x"

- ⑨ 着信転送を利用する場合は、ISDN 回線でかけるためのプレフィックスを数字のみで設定し、"1#", 2# ~ 9#" は設定しないでください。

また、ISDN 回線でかけるためのプレフィックスが設定されている場合、転送先の電話番号にはそのプレフィックスを付けて登録してください。

- ⑩ PBX ポート間、及び TEL ⇄ PBX ポート間の内線転送と内線通話をご利用頂けません。
- ⑪ ダイヤルインで設定できる桁数は、モデムダイヤルインの場合は 20 桁で PB ダイヤルインの場合は 4 桁です。